

## 現在までの業績

### 【症例発表】

•2013 年

•第 104 回滋賀県外科医会ー鼠径部ヘルニア再発に対して腹腔鏡下に修復した 1 例

•2014 年

•第 6 回アジアハイパーサーミア腫瘍学会、第 31 回日本ハイパーサーミア学会ーUsefulness of an operation under laparoscopy as neoadjuvant chemotherapy to appendix origin pseudomyxoma peritonei

•2015 年

•第 108 回滋賀県外科医会ー直腸平滑筋肉腫の 1 症例

•2016 年

•第 54 回日本癌治療学会ーTreatment for peritoneal mesothelioma in our institutes

•2017 年

•第 55 回日本癌治療学会ー腹膜切除術を施行した Growing teratoma syndrome の 1 例

•第 112 回滋賀県外科医会ー当院における腹腔鏡下ヘルニア修復術（TEP）の現況について

•2018 年

•第 73 回日本消化器外科学会ーTreatment for peritoneal mesothelioma in our institutes (続報)

•2019 年

•第 32 回日本内視鏡外科学会ー当院における腹腔鏡下ヘルニア修復術と腹腔鏡下胆のう摘出術 同時手術の検討

•第 32 回日本外科感染症学会ー腸管切除を要した小腸アニサキス症の 1 例

•2021 年

•第 57 回日本腹部救急医学会ー結腸憩室炎を契機とし、肝膿瘍を併発した化膿性門脈血栓症の 1 例

2022 年

・第 35 回日本内視鏡外科学会-鼠径部膀胱ヘルニアを伴う両側ヘルニアに対して TEP 法を施行した症例

・第 35 回日本内視鏡外科学会-再再発ヘルニアに対して TEP 法施行した症例

2023 年

・第 59 回日本腹部救急医学会ー腸腰筋膿瘍を契機に発見された S 状結腸癌の一例

### 【投稿論文】

・腹腔鏡下に切除した後腹膜 Müller 管囊胞の 1 例 : 日本臨床外科学会誌 82 ( 8 ), 1594-1599, 2021

・子宮内避妊器具長期留置が原因と思われる骨盤放線菌症の再燃による腸管狭窄にて大腸切除を余儀なくされた 1 例 日本外科感染症学会雑誌 13 (4) 313-318, 2016.